

## 1. 調査報告概要表

作成日 平成20年 5月20日

## 【評価実施概要】

事業所番号	( 評価機関で記入 ) 3 4 7 0 1 0 3 5 4 4
法人名	有限会社 藤山商事
事業所名	グループホームあい
所在地	広島県広島市東区東山町15 - 2 (電 話) 082 - 264 - 1006
評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島県広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成20年5月20日

## 【情報提供票より】(20年 5月14日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 8 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	18 人	常勤	18 人, 非常勤 人, 常勤換算 人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	7 階建て	3 階 ~	5 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45000~60,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円
敷 金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 200,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,500 円	

## (4) 利用者の概要( 5月14日現在)

利用者人数	21 名	男性	5 名	女性	16 名
要介護1	7 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	7 名		
要介護5	2 名	要支援2	名		
年齢	平均 84.4 歳	最低	64 歳	最高	97 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	ワカサ・リハビリ病院
---------	------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

病院に併設されたグループホームであり、日常は介護に専念できるように取り組んでいる。(看護となったときは病院がすぐ対応している)入居者は居室又は共用空間で自由に生活している。グループホームとしては病院の管理下での運営となっている。ホーム長と職員は入居者が安心して暮らせるように努力しており入居者はおちついた生活が見られた。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価の内容はよく検討され改善すべきところはよく取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	グループホームとしての特色を出すための取り組みはよく見られた。特に病院管理下のホームとしての特色を検討されている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は行なわれておりホームの状況の説明もされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	介護計画に家族の意見を取り入れて入居者が安心して暮らせるように努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域はマンションが多いところであり、高齢者とのつながりが少ない。グループホームのPRを行っており病院と一体となったイベントの開催や施設見学などの活動が期待される。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームとしての理念を立派に作りそれに基づく運営を心がけておられる。		グループホームの役割が地域に密着しての運営に変わりつつあるのでそれに向けた理念を検討されることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は理念に基いた運営に取り組んでおられるのがよく見えるが職員にはもう少し徹底されることが期待される。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	公園での花見など地域の中に出かける努力が見られる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義はよく理解しておられ改善に取り組んでいる様子が見られる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会役員、利用者家族、地域包括、利用者で2ヶ月に一回開かれている。		

グループホームあい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市への報告はきちんとされている。地域包括からの訪問がある。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	手書きの"たより"を二ヶ月に一度発行しておられる。		その人だけの情報(たとえば医師の診断内容)をその家族にだけ届けるなどの工夫が期待される。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が訪問のとき意見や要望を聞くようにしておられる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が入居者と馴染みになるためのOJTを行なっておられる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	OJTによる職員の育成や外部での研修内容を職員に周知している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ワカサリハビリ病院内でのグループホームである。		ホームとしての取り組みは良くされているがグループホームとしてはいろんな取り組みがある。ほかのグループホームとの交流をもたれることにより幅の広い取り組みが望まれる。

グループホームあい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者の気持ちを聞きながらホームの生活に慣れるよう努力されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事前後の入居者の役割を職員と一緒に話しながらか取り組んでおられる。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の思いを細やかに理解されている。状態による対応がなされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画作成時に入居者の思い・家族・職員の意見を聞き作成されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者の状態により計画は見直されている。</p>		

グループホームあい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ワカサリハビリ病院と常に連携をとり看護の状態が発生したときすぐ処置がとられている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ワカサリハビリ病院が24時間体制で支援をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化したときは病院での看護の体制がとられている。		
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者一人ひとりが安心して生活できるように取り組んでおられ、個人情報事務室できちんと管理しておられる。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の意向を聞きながらの介護がよくみられた。		

グループホームあい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は入居者の思いでできるようにしておられ、職員のサポートはさりげなく行なっておられる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の希望する時間にはいられるようにしておられ、その状況はきちんと記録されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみや共用空間でのウオーキングなどが自主的に行なわれている。		歌の先生が入居されており、お弟子さんが来られるがそのときは入居者が参加しての取り組みができるとよい。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物など個人的にはよくあるが、公園での花見の取り組みはこれからも季節に合わせた外出活動が期待される。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物への出入りは病院としての管理がされておる。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	入居者も参加しての訓練がされている。		

グループホームあい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量、排便などきちんと管理されており、必要時にはとられるように支援しておられる。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い共用空間がありウオーキングに利用している。		ウオーキングのときに楽しめるように壁に詩や格言、絵などを張り、また外の景色で楽しめるものがあればそれを案内するなどのウオーキングの楽しみを増やす工夫をされるとよい。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はよく掃除がされており清潔である。		